

日本共産党区議会議員
Japanese Communist Party

安藤たい作

区政報告 ニュース 第46号

3本の増発と引替えに環境を破壊!

地域住民を無視して自社利益を最優先、JR東日本は大崎短絡線事業計画の見直しを



生涯二度目の一般質問が終わりました。自己評価は本質問80点、再質問20点、再々質問30点。詳しい内容は次号で紹介させていただきます。

錦の御旗に事業用者の利便性を利
にせられます。利
させられること
騒音鉄粉被害の
拡大を引き受け
への不安を抱え
は365日事故
と替えに地元で
と答弁。その引
間につき3本、
シユ時のみ一時
されるのは、ラッ
JRは事業実施により増発

会場には計画の見直しを求め結成された「大崎短絡線連絡協議会」のメンバーも参加。質疑では事業そのものへの意見や質問が多数出されました。

わずかな増発のため に環境を壊すのか

話ができない状態」(参加者)とのなるのは必至です。

大崎短絡線問題は、当二ニュー
スでも繰り返しとりあげてき
ました(＊)。今回の説明会
は、JRが自治会長らの要請
で、大崎都営住宅の住民向け
に開かれたもので、会場の町
会会館は参加者で満杯に。
短絡線が完成すると、電車
は横浜方面から下りながら左
に急カーブ走行し、現在の大
崎駅のホームでは止まりきれ
ません。そのためホームの位
置は五反田寄りにすべられ、
都営住宅の前にかかること
になります。現在でも「廊下で

都営住宅の住民にとっ ても騒音被害が増大

さる11月6日、大崎都営住宅の住民向けに、大崎短絡線の事業説明会が開かれました。地域住民より利用者、引いては自社利益を優先させるJR東日本の態度の理不尽さが浮き彫りになりました。

実施を説くJRですが、地域住民の生活はどうでもいいのか。

2町会長・1自治会長 も「反対」を明言

今回の説明会には町会長、自治会長が3人も参加。□に「中止してもらいたい、それが地域の声」など事業に反対する立場を表明。しかしJR東日本は「反対されてもやる」と言い切り、地域の願いに背を向けました。地域環境を壊してでも自社利益は最優先する態度は時代錯誤であり、あつてはならないことです。力合わせて事業の見直しを勝ち取るために頑張ります。

＊【大崎短絡線整備事業】
横浜方面と新宿方面を結ぶ湘南新宿ラインの上り線を、新たに作る計画。横浜方面から大崎駅構内に向けて下りながら急激に左カーブするため、脱線事故の不安、増発による騒音・振動・鉄粉飛散などの環境悪化、沿線の「開かずの踏切」などが問題に。地元町会が中心となり「大崎短絡線連絡協議会」が立ち上がり計画の見直しを求めています。



漫画：安藤たい作

安藤たい作プロフィール '74年宮城県仙台市生まれ。国立宮城教育大卒。'98年漫画家を志し上京。'02年青年誌奨励賞受賞。'06年の区議補選で初当選。

安藤たい作ニュースは、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める用途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。ご意見・ご感想をお寄せください。

お知らせ

日本共産党区議会議員
Japanese Communist Party

安藤たい作
ニュース 裏面

新品川区基本構想素案 (案)への 12月10日(月)まで 「パブコメ」期限迫る

○「基本構想」とは・・・

「基本構想は、区の将来像とそれを実現するための指針です。将来のまちづくりのための基本となる考え方であり、これを実現するために長期基本計画（10年）や実施計画をつくり具体的な施策を展開していきます。」（品川区ホームページより）

*素案全文は、区庁舎、各地域センター、文化センター、図書館等においてあります。ホームページでも見られます。

○「パブコメ＝パブリックコメント（区民意見公募手続）」とは・・・

「区民生活に広く影響を及ぼす区の基本的な計画等を決定するときに、事前に素案を公表し、区民の皆さんからのご意見を考慮して決定するとともに、いただいたご意見とそれに対する区の考え方を公表する制度です。」（品川区ホームページより）

「特養ホームの 整備を検討」

議会で区長が増設に前向き答弁

11月22日の区議会で、品川区の濱野区長は、現在策定中の第4次長期基本計画で特養ホームの増設を検討すると答弁、議場にどよめきが走りました。

これまで区は「特養ホームの整備は完了しているので作る考えはない。区民のニーズはケアホーム」旨の発言を繰り返し、7年間の長きにわたって特養ホームを増設してきませんでした。その間20区で65ヶ所、5500ベッドの特養ホームが新たに建設され、品川区の特養整備率は23区中20番目まで落ちこんでいました。一方、ケアホームの利用料は月17万～20万円と高く、「国民年金でも入れる特養ホームの増設を」の願いは高まっていました。日本共産党は区議会で繰り返し要望。議会にも請願が上がる中、区が方針の変更を迫られたものです。

区長の前向き答弁を、特養ホームの一日も早い増設に実らせるかどうか、これからが大切です。大きな声と運動を広げましょう。